

番号	分野別	資料の概要
6	事業手法	設計・施工一括発注方式のメリット・デメリット

1 メリット

- (1) 設計・施工を同一企業へ発注するため、独自の技術や工法等を設計に反映させることが可能となる。
- (2) 施工業者の独自の技術やノウハウを活用し、設計内容を熟知したものが施工を行うので工期短縮、コスト縮減効果が期待できる。
- (3) 事業の早期段階で工事施工者を決めるため、工事入札での不調リスクが低減できる。

2 デメリット

- (1) 設計前の性能発注となり、具体的な仕様を受注者に委ねることになるため、市が求める性能・仕様を確保する工夫が必要となる。
- (2) 設計と施工を同一企業へ発注するため、チェック機能が働きにくくなりやすい。
- (3) 施工業者の独自の技術やノウハウを活用して設計、施工に反映することから、その受注事業者としては、高度な技術力を有する施工業者が設計を含めて受注する場合と、高度な技術力を有する施工業者と設計業者の共同企業体として受注する場合の二つのケースが想定される。このため、市内企業を限定または優先した発注条件は設定できない。